

チルトトラックの主な故障の原因と処置

故障と原因

NO	内容	原因	処置
1	ペダルを踏み込みしても全く上昇しない	作動油不足 ----- 作動油が無いので、動作出来ない。	作動油の補充を行う
		プレッシャーピンの固着(サビ・変形) ----- プレッシャーピンは下降を行う部品です、サビ・変形によりピンの動きが悪くなり、元の状態に戻らず下降状態のままになっている。	プレッシャーピンのオーバーホール又はプレッシャーピン交換
2	ペダルを踏むと上昇・戻すと下降してしまう	コーンのシート不良 ----- 逆流防止が機能出来ない状態となっている	ごみの除去又は、コーン・コーンシート交換
		バルブスプリング破損 ----- 逆流防止が機能出来ない状態となっている	バルブスプリング交換
3	上昇するが、徐々に下がってしまう	油圧パッキンの劣化 ----- シール機能低下によりオイルが漏れている	パッキン類交換
4	軽負荷は上昇するが、重負荷だと上昇しない	鋼球のシート面不良又は鋼球の破損 ----- シート不良により、リフトシリンダーに送るオイルがオイルタンクの戻ってしまっている。	再ポンピング、鋼球交換
5	ポンプすると上昇するが、上昇量が少ない (ポンプした時に最初抵抗がない)	エアーが混入している ----- エアーにより作動油がしっかりと吸込めない	エアー抜きを行う 下降レバーを握った状態で約5回ペダルを踏み込む 上限到達後さらに約10回ポンピングを行う
		ダストシールの外れ ----- ダストシール劣化・パッキン劣化によるオイル漏れ	再組付け、パッキン類交換
7	プレッシャーピンからの油漏れ	Oリング劣化 ----- シール不良によるオイル漏れ	パッキン類交換
8	下降レバー操作しても下降しない	プレッシャーピンの固着(サビ・変形) ----- サビ・変形によりプレッシャーピンが押せていない	サビ除去・プレッシャーピン交換
		下降レバーのワイヤー調整不良 ----- 調整不良によりプレッシャーピンが押せていない	下降レバーワイヤーの再調整
		プッシュロッド変形 ----- 変形により機械的に動作が出来ていない	プッシュロッド交換